



# 議会だより なよろ



増刊号

2020. 4. 1 発行

令和2年1月23日～24日実施

## 市民との意見交換会 報告



A班 駅前交流プラザ「よーな」

B班 ノースタウンふれあい会館



名寄市議会  
ホームページ

も	◎ 議長あいさつ・班別実施状況	2
く	◎ 各会場からいただいたご意見	3～7
じ	◎ 令和元年度(第2回)「市民との意見交換会」アンケート結果	8

厳しいご意見をいただいた「市民との意見交換会」

名寄市議会議長 東 千春



名寄市議会では年に2回「市民との意見交換会」を実施しており、通常では予算終了後と決算終了後の時期を別途に行ってきましたが、今回は名寄振興公社の債権譲渡に端を発した一連の問題、名寄社協指定居宅介護支援事業所における不正受給に関する問題、さらに王子マテリア株名寄工場の生産品集約に関する問題が発生し、特に12月定例会で振興公社に対して500万円の補助金交付を行ったこともあり、正副議長が分かれた2班集体で、1月23日、24日に実施いたしました。

今回は二日間で6会場にて実施しましたが、全体で102名の市民の方々に出席をいただきました。また、これまでは仕事の後の利便性等を考え夜間開催の日程を多く設定していましたが、今回は日中と夜間の開催を3回ずつにし、日中開催の参加者が67名、夜間開催の参加者が35名でアンケートにも日中開催を希望する意見があったことから、今後の開催のあり方の参考にさせていただきます。

2月25日に全員参加による実施報告会を行い、各班でお寄せいただいたご意見等を議員間で情報共有しました。その後の対応として、これまでは内容をピックアップして、市長の見解を求めていきましたが、今回から市長へは情報提供として実施報告書を手渡し、口頭での要望・提言を3月3日に行いました。今回は特に名寄振興公社への対応について多くの質問、ご意見をいただいたことについて、市民理解が深まっておらず、市民が納得し共に前に進んでいけるよう求めました。お寄せいただいたご意見等は、それぞれ所管する委員会や調査するもの、または各議員が一般質問等へ反映させるなどの対応をさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症が市民生活にも大きく影響していますが、議会としても感染が広がらないよう適切に対応していくとともに、国や北海道に対しても感染症の早期終息と経済対策の強化を要望してまいります。

今後とも市民と共に歩み、市民に寄り添う議会をめざしてまいりますので、ご意見等をお寄せいただきますようお願い申し上げます、ご挨拶いたします。

市民との意見交換会 班別実施状況

今回の意見交換会では、議会報告として定例会の審議概要、名寄振興公社並びに王子マテリア株式会社名寄工場生産品集約に関するこれまでの対応、各委員会の行政視察、各委員会の活動状況などについて説明をさせていただきましたが、できるだけ報告時間を短縮し、市民の皆さまとの意見交換や対話の時間を重視し開催させていただきました。班編成および開催状況は下記のとおりです。

A 班		B 班	
班長	東 千春 (議長、市民福祉常任委員)	班長	佐藤 靖 (副議長、総務文教常任委員)
班員	倉 澤 宏 (議会運営委員会副委員長、市民福祉常任委員)	班員	塩 田 昌彦 (議会運営委員会委員長、経済建設常任委員)
	高野 美枝子 (市民福祉常任委員会委員長)		高橋 伸典 (総務文教常任委員会委員長)
	佐久間 誠 (経済建設常任委員会副委員長)		山田 典幸 (経済建設常任委員会委員長)
	山崎 真由美 (総務文教常任委員会副委員長)		東川 孝義 (市民福祉常任委員会副委員長)
	黒井 徹 (総務文教常任委員)		川村 幸栄 (市民福祉常任委員)
	遠藤 隆男 (総務文教常任委員)		清水 一夫 (総務文教常任委員)
	富岡 達彦 (経済建設常任委員)		三浦 勝秀 (経済建設常任委員)
	今村 芳彦 (経済建設常任委員)		五十嵐 千絵 (市民福祉常任委員)
担当会場：	ふうれん地域交流センター 21人 名寄東小学校 11人 駅前交流プラザ「よろーな」 28人	担当会場：	ノースタウンふれあい会館 18人 智恵文多目的研修センター 11人 名寄市民文化センター 13人

## ◇各会場からいただいたご意見◇

### ふうれん地域交流センター 参加 21 人

#### ◆名寄社協指定居宅介護支援事業所の不正受給について

**問** 不正受給に関する新聞記事に驚いた。やったことについてしっかり反省するとともに、実態を究明し、公表してもらいたい。

**答** 報道後、ただちに市民福祉常任委員会として市に内容を確認した。不正確認以降は、業務改善されているという報告であったが、現在、指導監査による内容精査中である。

**意見** 行政が法令に違反したことは許されることではない。利用者へのサービス継続を考えてのこととはいえ、結果として大きな問題となっている。法令や社会的ルールを守ることが重要。

#### ◆名寄振興公社の問題について

**問** 誰が何をやったのか不明な部分が多い中での税金投入には問題がある。明確になった上での対応が必要。市としてしっかり情報を提供すべき。

**答** 12月議会で、補助金5,000万円の補正を可決したが、営業を継続するため、やむを得ないと判断した。現在は、新社長の就任、外部の専門家からの指導、市職員の派遣も含め、業務のあり方を徹底チェックするとともに、職員の意識改革にも努めながら、改善に向けた努力がされている。

**問** 学校や庁舎の改築も必要な状況であるとともに、町内会の要望もなかなか実現されない中、第3セクターということで市の公金が投入されていく。この状況はいつまで続くのか。

**答** 名寄振興公社は北海道の施設も含め、多くの施設の指定管理を受けている。分散型の管理や経営形態、部門別の収支実態の解明も含め、特別委員会での今後の議論となる。

**問** 名寄振興公社の監査体制はどうなっていたのか。

**答** 議会としても数字的にまとめられた決算書を受け取っていた。監査も整え上げられた関係

書類で行われており、細部まで確認できていなかった。

**意見**

書類の捏造<sup>ねつぞう</sup>に関しては然るべき場で調査してもらい、事実関係がわかった段階で質すべき。一番大切なところをうやむやにすべきではない。

**問** この問題が起きるまで経営が苦しいという認識はなかったのか。近隣の類似施設も軒並み厳しい状況の中、実際に黒字だと思っていたのか。

**答** 決算書の改ざんや粉飾には気づかなかったというのが実態である。

**問** 問題解決の道筋はどういう流れになるのか。新年度予算にもかかわってくる。議会としての判断時期は。

**答** 経営や指定管理のあり方なども含め、振興公社のあり方について具体的な議論を進めたいと思っているが、部門ごとの分析もまだ示されていない状況であるため、新年度予算時期に結論は間に合わないことが想定される。

#### ◆王子マテリア(株)名寄工場の問題について

**問** 署名活動の要請に応え地域で取り組んだが、その後それほど日が経たないうちに、跡地に関する報道があり不満を感じている。

**答** 署名については、名寄と周辺地域の思いとして手渡してきている。再考に関しては厳しい対応であったが、「これまで工場が地域に愛されていたことに感謝する」との言葉もあった。これは署名の力であり、協力いただいたことに感謝する。



### 名寄東小学校 参加 11 人

#### ◆名寄社協指定居宅介護支援事業所の不正受給について

**問** 少子高齢化が進む中、今後の福祉施策は非常に重要。不正受給の問題や監査などにしっかり対応してほしい。

**答** 新聞記事掲載後、ただちに市民福祉常任委員会を開催し状況報告を受けた。現状としては北海道からの指導を受けて、関係書類の精査

を行っている。明確な結果が出ない限りは、具体的な判断ができない状況であるが、しっかりと対応したい。

**問** 事後の対応を北海道の指導のもと進めているようだが、名寄市で精査し北海道へ報告するのが本来の流れではないか。また、結論はい

つ頃出てくるのか。

**答** 居宅介護支援事業については、北海道から権限移譲されている事業であり、名寄市として精査している最中である。北海道とも協議をしつつ2月末頃には結論が出ると報告を受けている。

◆JR北海道の問題について

**問** JR北海道の問題は住民の移動権に関わることであり重要な課題だ。市長が宗谷本線活性化推進協議会の会長をやっているのもう少し具体的に名寄市としての対応や考え方、今後の組み立てについて態度を表明してほしい。

**答** 加藤市長も宗谷本線活性化推進協議会の会長として頑張っている。JR宗谷本線は、旭川から稚内まで通っていることに大きな意義があり、存続に向けての認識は一致している。先般、市長とともに国会議員全員に向けて、宗谷本線に関する要請行動を行っている。

◆名寄振興公社の問題について

**問** 裁判の進捗状況を教えてほしい。

**答** 債権譲渡通知の相手方に対して、3件の提訴を起こしており、1月28日に初公判が開かれる。また、元社員の自販機からの窃盗については、12月20日に裁判が行われ、次回公判は2月17日に予定されている。また、振興公社の内部に、専門知識を持つ外部委員も含めた検証委員会が設けられており、会計・経理、法令遵守や組織体制などの検証が行われ

ている。

**問** 監査は粉飾を見過ごしていたことになる。その責任はどうなっているのか。

**答** 出された決算書などの財務諸表のチェックは行っていたが、細部にわたっての確認ができていなかったと聞いている。株主総会においても整然と整理された書類が提出され、違和感なく通過してきているとのこと。議会にも、数値の整合性がとれた決算書が提出され、粉飾・改ざんを見抜くことは難しかった。それぞれが決算関係の数値を信頼していたことに問題があったと認識している。

◆王子マテリア(株)名寄工場の問題について

**問** 従業員と家族、関係取引会社を含めると、莫大な人的影響があると思う。市も関わりながら関係者の生活不安解消へのフォローを進めるべき。また、撤退した場合の、敷地の取り扱いや企業誘致などの情報があれば伺いたい。

**答** 王子本社にこの件に関する担当者が置かれることとなったので、様々な視点から協議を行っていく。企業誘致の話も出てはいるが、現状では全く形になっていない。



駅前交流プラザ「よろーな」参加28人

◆名寄振興公社の問題について

**問** 第3回定例会で提出された補助金5,000万円が取り下げられたが、第4回定例会で同額が提出されている。金額の根拠は。

**答** 5,000万円は当面の資金不足を避けるための補助である。冬季スポーツの拠点でもあり、運営を継続する上で議決をしている。

**問** 膿を出し切り再起に向かう姿勢は正しいと考える。ずさんな管理体制、経営体制を徹底的に質していくべき。また、債務が膨らむ原因を究明するとともに、責任の所在も明らかになるよう方向を出す必要がある。温浴施設の天井が落下したが、施設整備についても特別委員会として提言すべき。

**答** 不明金などについて、公認会計士や市から派遣された職員が中心になって数字を洗い直している。特別委員会の中でも持続可能な公社運営ができるかどうか見極めているところであり、内容が明らかになれば市民の皆さんに

伝えることができると思う。

◆なよろ温泉サンピラーの接客について

**問** 挨拶をしない職員が見受けられるなど、客に対する接待マナーが不足している。

**答** 接客対応はサービス業の基本だと思う。貴重なご意見として受け止め、しっかりと改善に結び付けたい。

◆まちなかの休憩スペースについて

**問** 高齢者が歩行する際、まちなかにベンチなどの気軽に休憩できる場所があればありがたい。

**答** 市民福祉常任委員会の中でも、高齢化社会の中でどうやって住みよいまちづくりを進めていくか、健康寿命の延伸などについて検討している。行政とも協議し、いつまでも住み続けられる地域づくりを目指していきたい。

◆名寄社協指定居宅介護支援事業所の不正受給について

**問** 新聞報道では、不正受給額が5年間で1億円

とされている。2月下旬頃に精査の結果を発表するとのことだが、市は情報を小出しにしているのではないか。また、今後どう対応していくのか。

**答** 新聞報道の翌日に緊急の常任委員会を開催し、市として10項目の指導を行ったと報告を受けた。現在、関係書類を市と北海道で精査しており、2月下旬に方向を出せるよう、北海道や厚生労働省の助言を受けながら取り組んでいる状況と聞いている。

#### ◆行政の監督指導責任について

**問** 名寄振興公社と名寄社協指定居宅介護支援事業所に対しては行政の監督指導責任があると考えますが、一部に他人事のような姿勢も感じる。議会には、行政に対する監視、提言などの役割がある。実際の対応は。

**答** 公社については市が最大の株主であり責任は大変重い。長期間の運営の中で、ずさんな体質が継続してきた結果だと思う。この機会に

公社の経営そのものを立て直さなければならぬ。健全な運営、長期的な視点で名寄市が維持していけるのか、ここも含めてこれからの議論の中で見極めたい。

#### ◆医療機関の再編統合問題について

**問** 医療機関の再編統合について政府の見解が示された。道北地域全体としても大きな課題と考えるが議会としての見解は。

**答** 全国的にも大きな問題であり、名寄市では地域医療構想の中で議論している。道北地域の医療が衰退しないようしっかり取り組んでいきたい。



## ノースタウンふれあい会館 参加 18人

#### ◆名寄市立大学について

**問** 名寄市立大学には保健福祉系の4学科があり、人材的、経済的に大きな財産だ。学生に「福祉の充実したまちだな」と感じてもらえるよう、住んでいる私たちがそのことを自覚しながら学生との暖かい関係を作っていかなければならない。

**答** 旭川大学が名寄大学とほぼ同じ学部で2022年を目途に市立化するとのこと、学生確保の観点では当面の数年間が重要となる。名寄大学は国家試験合格率が非常に高く、誇りを持てる大学だと確信をしている。名寄大学の強みを生かし旭川大学との差を作りながら学生を確保していかなければならないし、大学と福祉のあり方を市民福祉並びに総務文教常任委員会でしっかりと考えていきたい。

#### ◆委員会や議会における質問の方法について

**問** 名寄振興公社のあり方に関する特別委員会を傍聴しているが、単純な数字の確認などは会議の場で質問するまでもなく、担当者に直接聞けばよいのではないか。一般質問でも同様の状況がある。無駄に時間をかけているだけではないか。

**答** 貴重なご意見として受け止める。

#### ◆門口除雪について

**問** 今のままでは除雪がネックとなり住み続けられない状況になってしまう。全て補助とは言わないが、前向きな姿勢を示していただきたい。生活に希望が持てるよう議会からも働き

かけてほしい。

**答** 福祉を充実させ、安心してこの地で住み続けられるようなまちにしていくことが大切だと思う。そのことは、各常任委員会に共通する課題だと思うので、議会全体の課題として受け止める。

#### ◆名寄駅前交差点の雪山について

**問** 駅前交差点の大通り側に雪山があり、駅に入る際見づらく危険だ。駅前の目立つ場所でもありイメージも悪い。市にも問い合わせているが、そのままになっている。

**答** ご指摘の場所は道道と市道、JR敷地の交わる場所と思われる。いただいたご意見を踏まえた上で、所管の経済建設常任委員会で検討するとともに、市にも情報を伝達していく。

#### ◆合同墓について

**問** 昨年の意見交換会で合同墓の話が出た。その時の回答では前向きな対応がされる印象だったが、その後の進捗状況は。

**答** 市から合同墓に関するアンケート調査を実施した旨の報告があった。様々な意見があったとのこと、その内容を見極めながら検討を進めている段階だと聞いている。

#### ◆介護施設の人材不足について

**問** 介護施設があっても働く人がいないという現実が進んでいる。外国人材の活用や人材育成を広域で検討していくことも必要ではないか。

**答** 官民間問わず人手不足により満床まで受け入れ

られない実態がある。名寄市立大学は福祉系の人材を養成している。そのことも踏まえ、福祉が充実したまちがどうあるべきか考えていきたい。

意見

介護職員の人材確保には待遇の改善が必要だと思う。国の施策も含めて後押ししていく必要がある。大学生が将来に希望が持てる環境を作っていかなければならない。そういうことを議員各位にも訴えてほしい。



## 智恵文多目的研修センター 参加 11人

### ◆名寄振興公社の問題について

問 名寄振興公社への補助金可決にともなう6項目の附帯決議の内容は。

答 ①補助金の趣旨にのっとり、経営改善のみに充当させること。②収支計画に基づき、最大の経営努力を求めること。③これまで投入してきた委託料等の効果を十分得るためにも、経営改善を求めるとともに、施設面を含め、将来的な見通しを明確にすること。④使途不明金等の内容を早期に明らかにすること。⑤今後の公金投入は極力抑え、市民への説明責任を果たすこと。⑥第3セクターの位置づけを明確にするとともに、ガバナンスの強化と透明性の向上を図ること。この6項目を附帯決議とした。

問 名寄振興公社は設置後歴史も古いですが、その当時からある規約、就労者の待遇など、時代に合わせた見直しも含めて協議を行ってほしい。

答 名寄振興公社のあり方に関する特別委員会は、事件性を追求するのではなく、振興公社の経営形態、施設整備、振興公社のあり方について議論を行っている。同じことを繰り返さないよう所管の経済建設常任委員会も含め対応したい。

問 今までの対応を見ると、人任せや部下任せになっており、公務員にありがちな縦割りの悪いところが出ているように感じる。市がきちっと法令を遵守していくことが重要。公社の存続に毎年費用がかかるのであれば、民間に任せたい方がいいのではないか。

答 名寄振興公社は、名寄市の施策を推進する上で重要な役割を担っているが、組織内でのコンプライアンス、ガバナンスが守られていなかった。仮に民間に経営を任すにしても、まだ調査が進んでおらず状況が整っていないことを理解願う。

問 公社で長年働いていた。従業員は命を預かりながらリフトを運行している。老朽化した施設の改修も含め安全を最優先に運営してほしい。

答 今年の第4ロマンスリフト停止も、人員不足に配慮し、安全安心を第一とした判断だと思う。従業員の思いも含めて、皆さんが共通認識を持って働けるような職場環境を求めている。

問 温泉施設に魅力がない。何か手を打たないと黒字化は難しいのではないかと。

答 外部から来ている企画営業部長からは、冬季も大切だが、夏場の利用促進に向けても、名寄の財産や資源を活用したプログラムをすることにより、学校や団体の集客誘致が可能だと言われているので、そのことについても検討していきたい。

問 近隣の温泉施設と比較すると、食事及びおもてなしの対応が良くない。

答 議会としても受け止め、しっかりチェックしていきたい。

### ◆ゴミの不法投棄について

問 毎年、春先になると決まった場所にゴミが捨てられている。ゴミ捨て禁止の看板を設置できないか。

答 現状を把握した上で、どのような方法が有効なのか、行政と相談していきたい。

問 以前は道の駅でもゴミを回収していた。コストや場所の問題もあると思うが、逆にゴミを捨てられる場所を用意することで交流人口も増えるのではないかと。

答 ゴミを捨てられる環境を作ることにはリスクもあるが、一つの方策でもある。貴重な意見として受け止め、行政とも協議していきたい。



## 名寄市民文化センター 参加 13人

### ◆常任委員会の行政視察と諸問題の関係について

**問** 行政視察をしている時間があるなら、諸問題の課題解決に対して時間を使うべきではないか。また、市長の対応が遅いことを議会としてもっと追求すべき。

**答** 視察については、各常任委員会が持っている年間テーマに沿って行っており、市民の皆さんの生活や名寄市の市政運営に関わる重要な視察だととらえ実施させていただいている。王子マテリアの課題については、突然の出来事であったが、市の対策本部に議長も加わり早急に対応している。振興公社については特別委員会を設置し、あり方について検討しているが、天井の落下、窃盗事件、市町村職員共済組合指定宿泊施設利用助成券の不適切な利用などの問題も次々と明らかになり、全容解明には至っておらず、まだまだ先が見えないのが実態である。社協の不正受給の件もまだ全体像が見えてきていない。公社と社協の問題の引責として市長が30% 3か月給与カット、同様に副市長が15%のカットをしている。このことは過去に例のない対応である。

### ◆名寄振興公社の問題について

**問** 議会は市民の代弁者であり、行政の監視役である。平成25年度に、市から名寄振興公社に対する、約2,700万円の経営安定補助金を議会が認めた上で入れているが、その後の監視ができていなかったのではないかと。継続して赤字体質が続くのなら存続ありきではなく、ゼロベースで考えるべき。温浴施設が必要なら赤字の補填財源でまちなかに作ればよいのではないかと。

**答** 5,000万円の補助は、現在、行政で進めている施策を止めることはできないことから認めてきた。平成25年度の2,700万円の補助後から新たなスタートを切ったという認識を持っていたが、昨年5月31日の指定管理料債権譲渡通知により初めて資金繰りが厳しいことが発覚した。その後の調査において、経理や会計処理などの事務処理が極めてずさんだったことが判明している。ゼロベースという話も出てはいるが、中身の精査がしきれておらず、現状はゼロベースに持っていきままで至っていない。

**問** 決算が黒字で報告されていたということは、文書の改ざんがあったということであり、法的にも逸脱している。そこを議会として追及すべきではないか。

**答** 状況が明らかになった時には、責任がどこにあるのかを議会として求めていかなければならない。現在そこも含めて調査をしているということでご理解いただきたい。決算関係書

類を作成したのはあくまでも名寄振興公社であり、市は携わっていない。

**問** 資料に組織体制、経営体制の刷新とあるが、具体的に教えてほしい。

**答** 10月28日に社長が交代をして、橋本副市長が社長に就任している。また、公社の検証委員会ができていて、その中で公認会計士や弁護士、また、第3セクターの再生実績のある専門家が企画営業部長として入っている。市から派遣されている職員も2名おり、総務事務を担当しながら組織全体の体制づくりを行い、各セクションの連携を図っている。

### ◆中心市街地活性化と南広場の活用について

**問** 選挙時の公約で商店街の活性化があげられていたが具体的に見えてこない。もっと発信してほしい。南広場にも様々な活用策があるのではないかと。

**答** 南広場の利活用も含めて、中心市街地をどう活性化するかについて、先般示された立地適正化計画との整合性も図りつつ所管の経済建設常任委員会で議論していきたい。また、行政との意思疎通を図るとともに商店街関係者とも共通認識を持ちながら進めていきたい。

**問** 南広場は避難場所にもなっており重要な場所だ。あそこは何のための広場か、なぜ今まで残っているのかを考えてほしい。市民の意見に流されることなく、議会を含めきちっと検討してほしい。

**答** 使い道は決まっていないが、中心市街地の活性化のために活用することは一つの方策として考えられる。議会として、市民意見を受け止めながら議論を深めていきたい。

### ◆王子マテリア(株)名寄工場の問題について

**問** 工場が撤退すると敷地の空洞化が懸念される。また、更地にした場合に公害の心配はないのか。固定資産税の減や関連会社を含めた影響を受ける人数の試算は。

**答** 固定資産税の減収は1億4,000万円程度と聞いている。また、敷地内の最終処分場については適正に処理されており問題ない。従業員数は子会社2社を含めると198人。今回の提案は、名寄市だけでなく周辺にも大きな影響があり、今後どうしていくのかという条件闘争も重要になってくる。



## 令和元年度(第2回)「市民との意見交換会」アンケート結果

※回答内容につきましては、紙面の都合上、自由記載を中心に掲載しております。

### 問1：あなたの年齢は？

①20代(1人) ②30代(3人) ③40代(7人) ④50代(5人) ⑤60代(30人) ⑥70代以上(43人) 未回答(2人)

### 問2：あなたの性別は？ 男(72人) 女(16人) 未回答(3人)

#### ※今後、市民との意見交換会について改善すべきことがあればお書きください。

▶意見交換は初めてだったが必要だと感じた。開催日程等広く告知してほしい。▶何か一つこれが理解が出来たと思う様な交換会であってほしい。▶もっと女性の参加を呼びかけ何でも話せたらいいと思う。▶問題が山積みな名寄市だが、意見交換会の場が今まで以上に大切だ。▶予定じやなく完結な回答をしてほしい。▶参加する町内会長に資料を先に送り町内会で困っている案件をファックスで議会へ送ることをしてほしい。▶夜間を避けた時間設定が有難く思った。大きな問題や参考になる話が多く問題点の具体化への道が少し開けた感じがあった。▶議員の一生懸命な姿が見れて感動的だ。市民との雑談の中の話題にも気遣い、取り合ってくれた姿勢が有効な活動に見える。▶市民の多くが参加できる方策を検討する必要があると思う。(2件)▶問題の多い中、1時間半では足りない。▶あらかじめ文章で提出も可能になれば、意見を出す方も話がまとまり短縮されるのではないか。▶マイクの音声が悪い。▶市民はみんな出てこないといけない。▶題材が厳しいものだった。ご苦労さまでした。回答の内容についても立派な対応だった。▶若い人の参加が少ないので、若い世代の意見交換等出来るような工夫があればいいと思う。

#### ※議会に対してご意見等があれば、自由にお書きください。

▶振興公社の件については、焦らずじっくりやって下さい。監査は確かに甘い。▶王子マテリアの件は、撤退後の跡地利用に議題をシフトすべき。特に「更地にする費用は王子マテリアが持つ」これは絶対。▶議会中継のYouTubeは必要に応じてカットすべき。特に開始までの一切動きのない部分。あと、画質が悪いのでカメラの更新を。▶市民の代表としてもっと市民の立場に立って活動してほしい。振興公社の在り方、誰のために一体どの位補助するのか、止める勇気も必要ではないか。▶録画中継が見づらく関心のあるものを選んで見れると嬉しい。▶機会があれば次回も出席したい。▶大きな問題が3つ存在しているが、とにかく市全体としてプラスになっていくように市民も含めて将来に向けて考えていくべきだ。▶議員も大変だろうが、もっと目を開いて頑張してほしい。▶アライグマについて名寄の街中の繁華街にいた目撃情報があった。▶市民の意見をよく聴き高齢者の意見を取り上げてほしい。▶今後の不正をしっかりと改善すること。それを市民からの税で賄うのは違うと思う。▶もっと目の前の事を議題に付して一つでも解決してほしい。今はそれが出来ていない。何のために議員がいるかをもう一度考えてほしい。地域が悪くなる一方だと思う。▶議員は足で稼いで。単純な数字的なものは即時に調べる。または聞き取りをしておく。その数字に疑問があれば質問するべきだ。▶良かった。ご苦労様でした。▶これからも市民一人ひとりと共通認識に立てるようご活躍ください。▶門口除雪で地域住民が困っている。門口に除雪車が雪を置いていかないように行政を指導してほしい。▶王子マテリアの件については、減るであろう人口や年齢分布、それが名寄市経済に与える影響をしっかりと試算してほしい。▶若い議員がそれぞれ勉強し取り組んでいると少し感じた。▶2年後王子マテリアの撤退による名寄市の衰退を最小限にする活動を提案してほしい。▶議会の傍聴で感じるが、台風等で「お見舞い申し上げます」等の言葉を述べているが、議長が代表して各議員の代弁でいいと思う。質疑応答に時間を設けてほしい。▶振興公社問題は簡単なことではないと思うが、前社長の記者会見もなく、退けば無罪放免とはおかしい。取締役、監査役、株主等の責任はどうなっているのか。わからないことばかりで解決策は遠い。▶振興公社の社長が、副市長からなったのが市民として納得いかない。▶東風連駅の高校前の移設は東風連地区住民に話をしたのが。▶雑誌はゴミなのではないか。王子マテリアがなくなったら使ってくれる会社はあるのか。▶今回初めて来たが、真摯に受け止めて頂いていると感じた。また機会があれば参加したい。▶議会改革(定数)の特別委員会をもっていたが、去年は選挙とは言え無風の心配が残る状況だ。定数、なり手等の課題への継続的な検討をすべきだ。▶名寄市の人口減、高齢化や少子化もあるが子どもたちが名寄にとどまる状況をどう作るか。また、雪の問題もある。これを克服すべきだ。高齢になると除雪が大変で名寄から転出する方が多い。▶市として(市民を含めて)アンテナが低い。もっと緊張感を持って全ての面で速度を高めて進むべきだと思う。